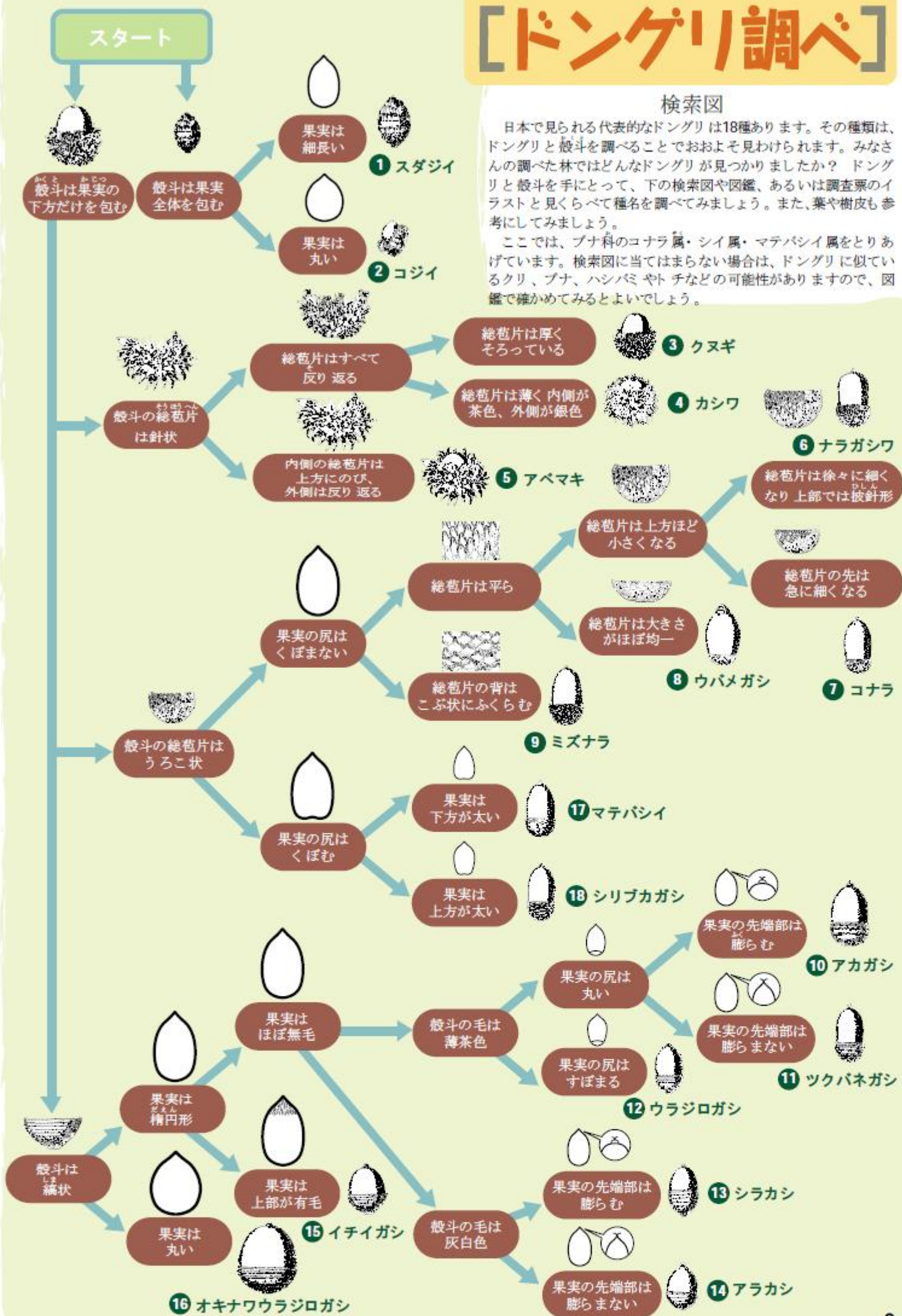


# [ドングリ調べ]

## 検索図

日本で見られる代表的なドングリは18種あります。その種類は、ドングリと殻斗を調べることでおおよそ見分けられます。みなさんの調べた林ではどんなドングリが見つかりましたか？ ドングリと殻斗を手にとって、下の検索図や図鑑、あるいは調査票のイラストと見くらべて種名を調べてみましょう。また、葉や樹皮も参考にしてみましょう。

ここでは、ブナ科のコナラ属・シイ属・マテバシイ属をとりあげています。検索図に当てはまらない場合は、ドングリに似ているクリ、ブナ、ハシバミやトチなどの可能性がありますので、図鑑で確かめてみるとよいでしょう。



# ドングリ

## 図鑑

### ドングリとは



ドングリとは、クヌギやコナラのように下方がおわん状または皿状の殻斗で包まれた丸く固い果実の総称で、殻斗を含んで言うこともあります。

普通はブナ科コナラ属に属する果実を言いますが、ここでは、マテバシ属や殻斗が果実全体を包むシイ属の果実もドングリとします。

### ●ドングリの部位名



### ①スタジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis sieboldii*



×1.0



×0.15

常緑樹。樹皮は縦に浅く裂け、葉の下面は金色です。シイ類の材は耐久性があり、家具、建材などに広く用いられています。分布は福島・新潟県以南の沿岸地域。

### ②コジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis cuspidata*



×1.0



×0.15

常緑樹。樹皮はなめらか。葉の上半分に浅い鋸歯があり、下面は金色です。シイ類のドングリはタンニンが少なく縄文時代には食用となっていました。分布は東海以西から種子島までの内陸丘陵地。

### ③クヌギ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acutissima*



×1.0

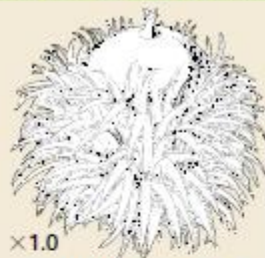


×0.10

落葉樹。樹皮は縦に深く裂け、葉の下面は淡緑色でほとんど無毛です。鋸歯の先は針のように尖っています。材はシイタケ栽培の原木や良質の炭となります。分布は岩手・山形県から屋久島・種子島まで。

### ④カシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus dentata*



×1.0

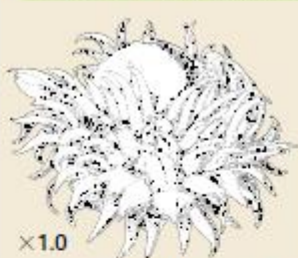


×0.06

落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉の長さは10~30センチで鋸歯は波状。葉の下面は毛が密生し、灰白色です。かしわ餅をつつむことで知られています。分布は北海道から九州まで。

### ⑤アベマキ

ブナ科 コナラ属 *Quercus variabilis*



×1.0



×0.10

落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉はクヌギに似ていますが、下面は毛が密生し、白色です。分布は岩手・山形県から九州中部まで。

### ⑥ナラガシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus aliena*



×1.0



×0.06

落葉樹。樹皮はふぞろいに深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。葉柄は長さ1~3センチ。分布は岩手・秋田県以南から九州まで。

### ⑦コナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus serrata*



×1.0



×0.10

落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。シイタケ栽培の原木に使われます。分布は北海道から九州まで。

### ⑧ウバメガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus phillyraeoides*



×1.0



×0.15

常緑樹。樹皮は縦に浅く裂けます。葉は楕円形で、上半分に浅い鋸歯があります。材は備長炭となります。分布は関東南部以南。

### ⑨ミズナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus crispula*



×1.0



×0.06

落葉樹。樹皮は大きな割れ目ができます。葉は鋸歯があり、下面は淡緑色です。葉柄はほとんどありません。分布は北海道から九州まで。

用語解説

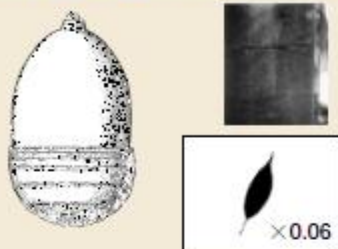
- 広葉樹 / コナラ・ケヤキのように幅の広い葉を持った樹木。
- 針葉樹 / マツ・スギのように針状、またはうろこ状の葉を持った樹木。
- 常緑樹 / 1年中緑の葉をつけている樹木。クロマツのような針葉樹と、クスノキのような広葉樹がある。
- 落葉樹 / 冬には葉を落とす樹木。コナラのような広葉樹が多く、針葉樹ではカラマツやメタセコイアなどがある。



- 1) 鋸歯 / 葉の縁にあるギザギザの切れ込み。
- 2) 全縁 / 鋸歯がない葉の縁の形。

⑩ アカガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acuta*



常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ8~15センチで全縁。葉の下面は緑色、葉柄は長さ2~4センチで、葉の先は長く尖ります。分布は宮城・富山県以南から屋久島まで。

⑪ ツクバネガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus sessilifolia*



常緑樹。葉は長さ5~12センチで、葉の先だけに浅い鋸歯があります。また、葉は枝先に集まってつく傾向があります。葉の下面は淡緑色で、葉柄は長さ0.5~1センチ。分布は宮城・富山県以南。

⑫ ウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus salicina*



常緑樹。小枝は灰白色。葉の下面は無毛で、名前の通り目立って白色です。中央の葉脈の上面はへこんでいます。分布は宮城・新潟県以南。

⑬ シラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus myrsinaefolia*



常緑樹。樹皮はなめらか。小枝は黒色。葉の下面はほとんど無毛で灰緑色です。生け垣や防風樹とされることがあります。分布は福島県以南から屋久島まで。

⑭ アラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus glauca*



常緑樹。樹皮はなめらか。葉は長さ5~10センチで上半分に大きな鋸歯があります。葉の上面はやや光沢があり、下面は灰白色で毛があります。公園や庭木などによく使われます。分布は宮城・山形県以南。

⑮ イチイガシ

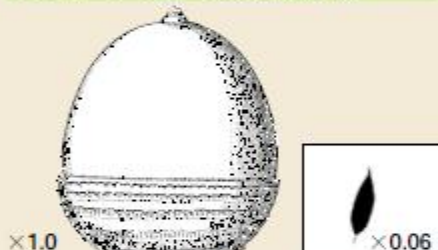
ブナ科 コナラ属 *Quercus gilva*



常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ4~12センチで、葉の上半分に鋸歯があります。葉の下面には黄土色の毛が密生します。分布は関東南部以南。

⑯ オキナワウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus miyagii*



常緑樹。葉は先の方に低い鋸歯がまばらにあり、下面は白色または淡緑色です。他の種とくらべて、果実が非常に大きいのが特長です。分布は奄美大島から西表島まで。

⑰ マテバシイ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus edulis*



常緑樹。樹皮はなめらか。葉は全縁で葉の下面は薄茶色です。果実は大きくアクも少ないのですが、スタジイやコジイとくらべて美味しくありません。分布は関東南部以南。

⑱ シリブカガシ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus glabra*



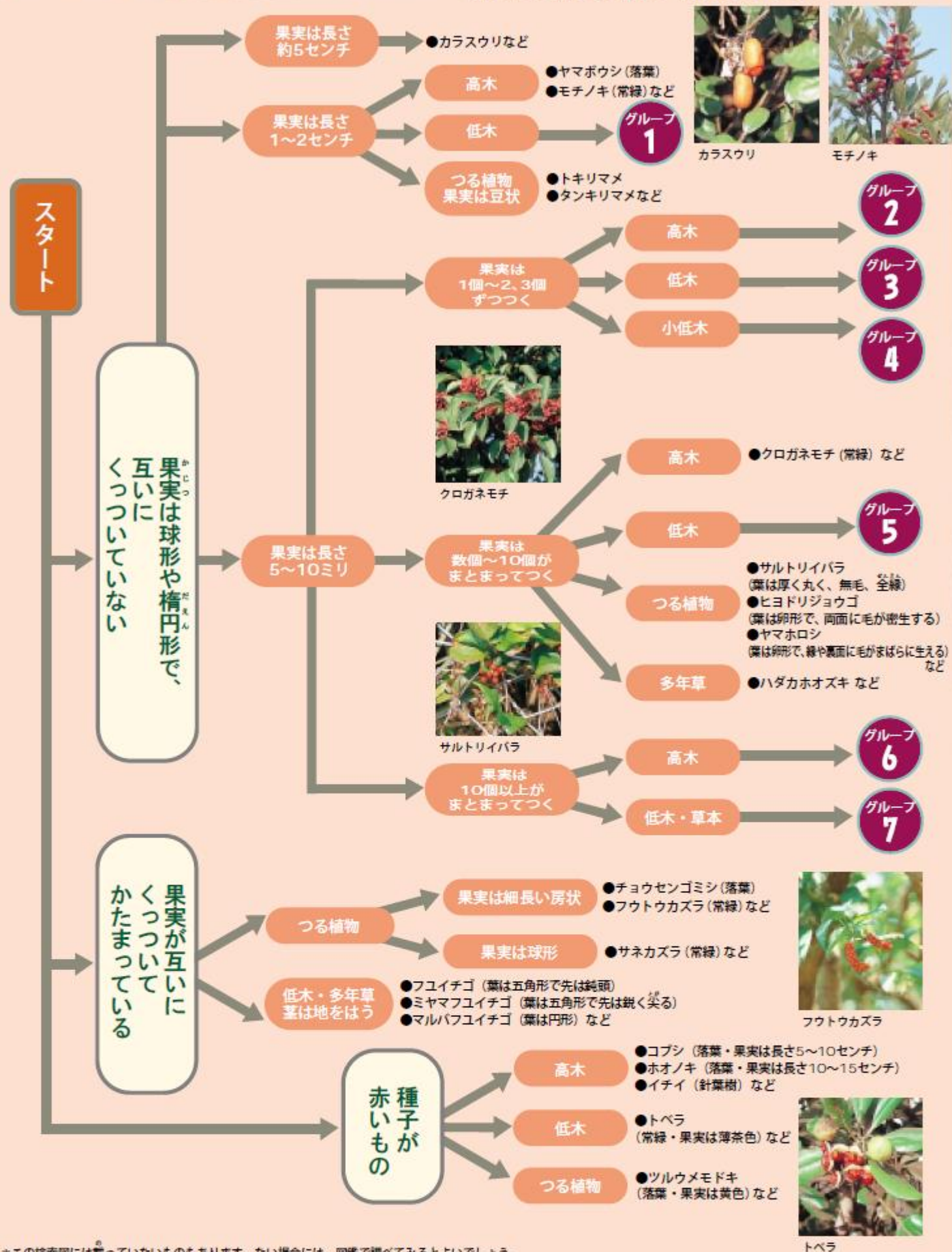
常緑樹。樹皮はなめらか。葉は先の方に浅い鋸歯があり、葉の下面は銀白色です。材は堅く、中国では農具に使われます。分布は近畿地方以南。

# [赤い実調べ]

## 検索図

私たちが森や林を歩いていて目に付くものといえば、赤い実ではないでしょうか？ 黒い実や黄色い実などもありますが、なんといっても赤い実が一番多く見られます。赤い実は鳥に見つかりやすく、食べられることによって、種子をより遠くに運んでもらっています。

赤い実をつけるおもな植物には以下のような木・つる植物・草があります。みなさんの調べた林に赤い実は何種見つかりましたか？ 下の検索図や図鑑を使って種名も調べてみるとよいでしょう。



\*この検索図には載っていないものもあります。ない場合には、図鑑で調べてみるとよいでしょう。

# 赤い実図鑑

秋に「赤い実」をつけるたくさんの植物のなかから、身近に見られる約70種を選び、果実のつき方や大きさ、生活形などで分類しました（公園などに植えられている外来の園芸種などは13ページの検索図にはありません）。果実と種子の区別はなかなか難しく、果実のように見えても種子であることがあります。たとえば、イチイの「赤い実」のように見えるものは、果実ではなく種子です（写真：右）。種子が赤いものもこの検索図に入れました。

果実の形だけで種名までわかる検索図を作ることは難しいので、検索図で特定のグループに当たったら、図鑑を開いて、図や写真と見くらべ、あるいは葉の形なども調べて種名を確認しましょう。



果実ではなく種子が赤いもの。イチイ

## グループ①

アオキ（常緑）・ヒメアオキ（常緑）・クコ（落葉）など



アオキ

クコ

## グループ④

アリドオシ（常緑）・ヤブコウジ（常緑）・ツルコウジ（常緑）・コケモモ（常緑）・ツルコケモモ（常緑）など



アリドオシ

ヤブコウジ

## グループ⑤

アキグミ（落葉）・オトコヨウソメ（落葉）・ミヤマシキミ（常緑）・サンショウ（落葉）・フユザンショウ（常緑）・ダンコウバイ（落葉）など



アキグミ

ミヤマシキミ

## グループ②

アワブキ（落葉）・ソヨゴ（常緑）・ズミ（落葉）・カゴノキ（常緑）・アオハダ（落葉）・イヌマキ（針葉樹）など



イヌマキ



ソヨゴ

ズミ

## グループ⑥

ナナカマド（落葉）・サンゴジュ（常緑）・イイギリ（落葉）・タラヨウ（常緑）・ゴマギ（落葉）・オオカメノキ（落葉）など



ナナカマド

サンゴジュ

## グループ③

メギ（落葉）・カマツカ（落葉）・ウメドキ（落葉）・アカミノイヌツゲ（常緑）・ニシキギ（落葉）・コマユミ（落葉）・マサキ（常緑）・ツリバナ（落葉）・ヒロハツリバナ（落葉）・サワダツ（落葉）など



メギ

ウメドキ



アカミノイヌツゲ

コマユミ

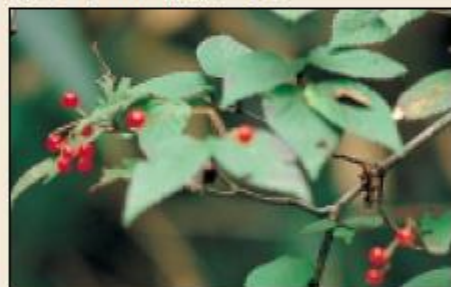


マサキ

ツリバナ

## グループ⑦

ナンテン（常緑）・ガマズミ（落葉）・コバノガマズミ（落葉）・ミヤマガマズミ（落葉）・ヤブデマリ（落葉）・クマヤナギ（落葉）・ハリブキ（落葉）・ノイバラ（落葉）・センリョウ（常緑）・マンリョウ（常緑）・カラタチバナ（常緑）など



コバノガマズミ



ガマズミ

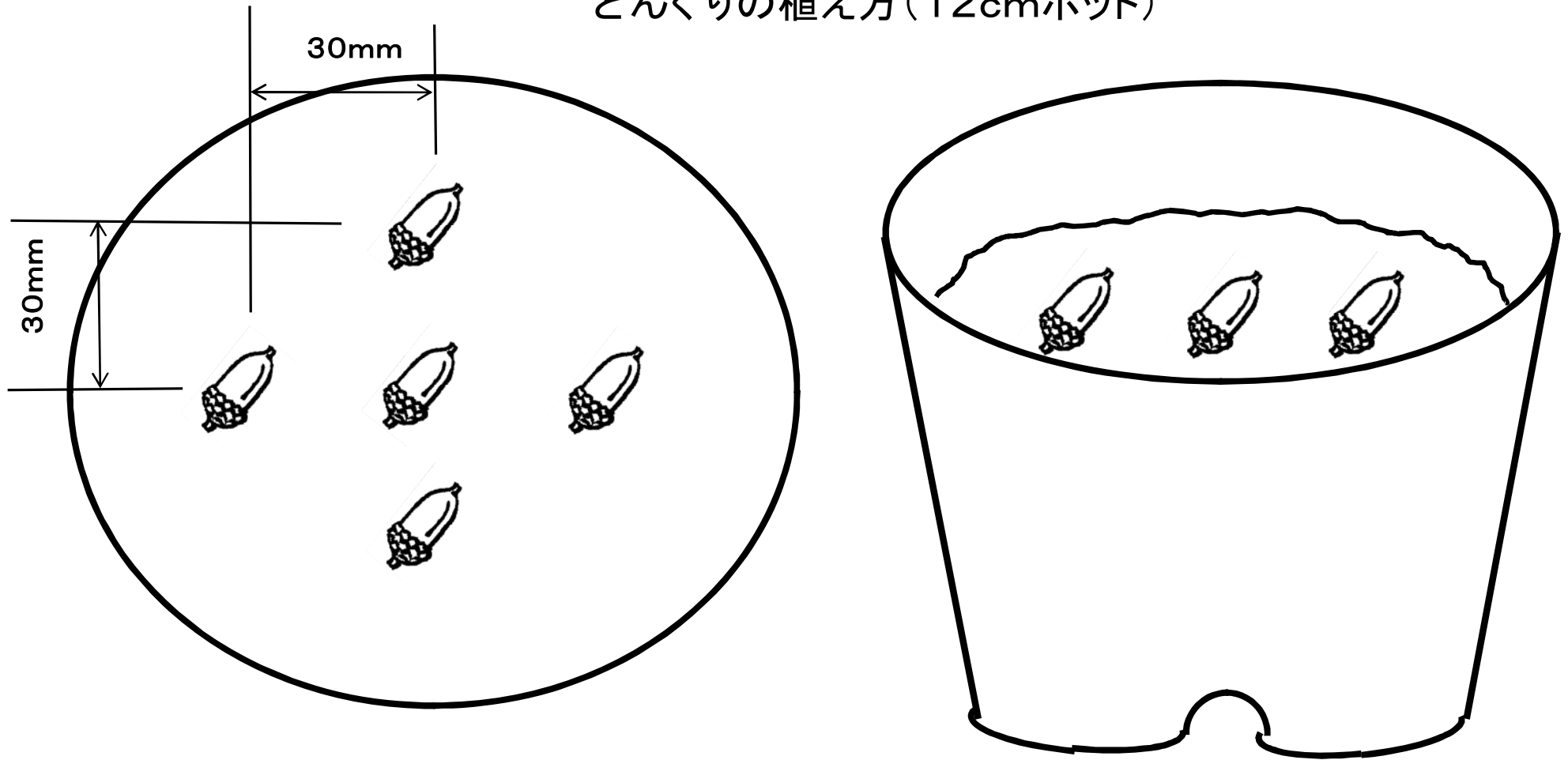
ノイバラ



センリョウ

マンリョウ

## どんぐりの植え方(12cmポット)



1. どんぐりの色の青いものや虫で穴のあいたものを除くため、水に入れ沈むものを選ぶ。
2. 数日間流れる水につけておくと良い。(虫が死ぬ。バケツの場合には水をこまめに換える。)
3. 鉢の中は、赤玉土や畑の土に腐葉土を混ぜて、排水の良い土にする。
4. どんぐりを横向きに置き、土を2~3cm掛けて、十分に水をやる。冬場は霜の当たらない場所に置く。(例えば、軒下など)
5. 春になると葉が出るので、日の当たる場所で育て、土の表面が乾いてきたら水をやる。
6. 葉が出たなら、育つ様子を観察し、記録しておくが良い。